

授業科目名	ボランティア活動(2000053)		
時間割名	ボランティア活動(14105)		
時間割担当	谷口直子		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・4		

■授業の目標・概要

2011年の東日本大震災時のように、日本においてもボランティア活動が活発に行われるようになってきました。ボランティア活動の具体的な事例として、大規模災害のボランティアや災害以外の場面での様々な実践例を概観しながら、ボランティアが生まれた背景や現代社会におけるボランティアの役割・意義について考え、ひとりひとりが豊かに生きることができる社会をいかに構築するのかを考えます。また、実際にボランティア活動を経験することで、自分なりのボランティア像を構築します。

■学習の到達目標

- ・ボランティア活動の意味や社会的役割を理解できている。
- ・実際にボランティアを経験して、ボランティア活動を行う側の動機や考え、課題を理解できている。
- ・ボランティア活動を行う際のマナーを心得ている。

■授業方法・形式

ディスカッションを中心に参加型ですすめます。

■授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 ボランティアとは？
- 第3回 ボランティアの意義
- 第4回 人はなぜボランティアをするのか？（グループワーク）
- 第5回 人はなぜボランティアをするのか？（発表）
- 第6回 さまざまなボランティア活動①
- 第7回 さまざまなボランティア活動②
- 第8回 ボランティアに関わる機関
- 第9回 ボランティアを探そう
- 第10回 ボランティア参加時に知っておきたいマナー
- 第11回 ゲストスピーカーのお話
- 第12回 ゲストスピーカーのお話
- 第13回 ボランティアを経験して（グループワーク）
- 第14回 ボランティアを経験して（発表）
- 第15回 まとめ

■成績評価の基準

平常点（授業への参加度）とボランティア参加報告書で評価します。
平常点（50%） 報告書（50%）

■準備学習・復習及び授

個人またはグループでボランティア先を見つけて参加してもらいます。

■履修上のアドバイス及

ボランティア活動に参加することは、これからの社会や皆さんの人生を豊かにします。初心者向けの授業ですので、ボランティア活動は未経験という方も気軽に受講して下さい。

■教材・教科書

テキストは使用しません。資料等は適宜配布します。

■参考書

岡本栄一著『学生のためのボランティア論』大阪ボランティア協会 2006年
大阪ボランティア協会編『テキスト市民活動論ーボランティア・NPOの実践から学ぶー』大阪ボランティア協会 2011年